



空間ベクトルの利用の確認

★ 平面と同様にベクトルを図形の問題に利用しよう！

1 図形の条件をベクトルの条件に

一直線上の3点 (共線条件)

3点 A, B, C が一直線上にある $\Leftrightarrow \overline{AC} = k\overline{AB}$ となる実数 k がある (始点一致)

平行条件

$AB \parallel CD \Leftrightarrow \overline{AB} = k\overline{CD}$
となる実数 k がある

線分の長さ

$$AB^2 = |\overline{AB}|^2 = \overline{AB} \cdot \overline{AB}$$

同じ平面上にある点

点 P が平面 ABC 上にある $\Leftrightarrow \overline{AP} = s\overline{AB} + t\overline{AC}$ (s, t は実数)
 $\Leftrightarrow \overline{OP} = r\overline{OA} + s\overline{OB} + t\overline{OC}$, $r + s + t = 1$

なす角

$$\overline{AB} \cdot \overline{AC} = |\overline{AB}| |\overline{AC}| \cos \theta \quad (0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ)$$

垂直条件

$$AB \perp CD \Leftrightarrow \overline{AB} \cdot \overline{CD} = 0 \quad (\overline{AB} \neq \vec{0}, \overline{CD} \neq \vec{0})$$

3直線が1点で交わる

$\overline{OP} = \overline{OQ} = \overline{OR}$ なら 3点 P, Q, R は一致 (分点の一致)

POINT

空間図形から平面図形を取り出そう

交点 \Rightarrow 2通りに表してベクトルの相等としてみる

垂直・角・線分 \Rightarrow 2乗するなどして内積の利用へ

2 結論に向けてベクトルの変形を

POINT

3本の単位ベクトル or 位置ベクトル

- ・ (単位) 始点が一致した3本の単位ベクトルを決めて他のベクトルを表す。
- ・ (位置) 計算が楽になるよう成分を定めて活用する。

3 ベクトルを図形化する

POINT

変形によって得られた結論を改めて図形として結論を出す